花と木の実践養成教室

令和6年1月23日（火）

バラの冬管理について

バラは、枝を更新することで元気な花を咲かせることができます。
枝をそのままにしておくと、上手く育たなくなります。
つまり、バラは枝を更新していくことで、株自体を活性化し毎年よい花を咲かせます。
バラを栽培するためには、この作業（剪定）がとても重要となってきます。

ハイブリッドティ(HT)

四季咲きの大輪種で、品種も多く、花形や色も香りも豊富にあります。

フロリバンダ(F)

四季咲きの房咲き中輪種で、一枝に数多くの花を咲かせます。

剪定(1月中旬～2月上旬)

枯れ枝や細い枝を元から取り除き、昨年花を咲かせた枝やシュートを切ります。剪定する高さは、系統によって異なりますが、(HT)は剪定前の樹高の1／3位に、(F)は剪定前の樹高の1／2位に剪定するのが目安です。枝を切る時は、株の中心から外側にある(外芽)の5mm上で切ります。

ハイブリッドティ

剪定前 → 剪定後

フロリバンダ

剪定前 → 剪定後

今回は、ボランティアグループ(ピースローズ倶楽部)が、
活動されている平和公園バラ花壇で剪定を行います。

鉛筆より細い枝や枯れた枝は、枝元で切り取ります。
残す枝の数は、5～7本くらいが理想的です。

堆肥と肥料を
入れる穴を開けます！

施肥は、１月～２月上旬までに行います。今回は株から30ｃｍ位離れた所に深さ30ｃｍ位の穴を掘り、１つの穴にバーク堆肥３ℓ・油粕300ｇ・骨球100ｇ・ヨウリン50gを配合して与えます。

穴に堆肥と肥料を入れて掘った土を半分戻して混ぜます。

混ぜ終われば、残りの土を全部戻して土をならします。

最後に雑草対策・乾燥防止保湿効果・病気対策の為バーク堆肥でマルチングします。

剪定と施肥が終わりました。
春の開花が楽しみです！
みなさん
ありがとうございました。